

学位論文審査の結果の要旨

瀬戸 隆之

本研究はニホンジカの生活史特性（体重、体サイズ、繁殖力、生存率）に餌資源の質と利用可能量がどのように影響するかについて、低質・多量（足尾）と高質・少量（奥日光）と対照的な生息地に生息する二つの個体群の長期モニタリングデータを基に解析を行ったものである。冬季にシカが利用する主要な餌は、積雪と生息密度の双方の影響を受け、高質・少量の生息地では特に強い影響がみられた。生息地の質量の相違は体サイズや体重、平均年齢、寿命、世代間隔などの生活史パラメータに与える密度効果の程度に影響していることを明らかにした。審査会では長期データをもとに生息地とシカ個体群の相互関係について多面的な解析を行った点が高く評価された。

以上のように、本論文は、多くの新しい知見を有すること、論文の内容、構成および公表論文数などから、本学位論文審査委員会は、全員一致して、本論文が博士（農学）の学位論文として十分価値があるものと判断し、合格と判定した。